

総 論

満点	200点	目標得点	140点	試験時間	90分	偏差値	A:69 B:72
大問数	8	小問数	55				
【解答形式】		選択式	42/55問	記述式	13/55問	論述式	0/55問
【問題難易度】		C	9/55問	B	25/55問	A	21/55問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：「発展途上国における情報機器のメリット」「現代アメリカ社会における起業家の価値」など、時事問題が多く出題されている。
- 2：文法問題では語彙、語法の知識だけでなく文構造把握力、品詞の正確な理解まで要求されている。
- 3：大問8題、小問55題を90分で解くため、かなりのスピードが必要。今年度合格者にきいたところ、「先にⅣ～Ⅶの文法問題を大急ぎで片付け、残りの時間を全てⅠ～Ⅲの長文問題にあてた。文法問題を見直したり、考え込んだりする時間の余裕は全くなかった」とのこと。参考にしてほしい。

こんな力が求められる！

1. 遅くとも、『でか単』のPART 2を1学期中にインプットし、2学期までにはPART 3も覚えておくこと。
Topicsで触れた通り、文法問題は「なんとなく意味は覚えている」程度の受験生を振り落とす難問ぞろい。2学期から始まる「長文マラソン」で、1度インプットしたPART 3までの単語と何度も会うことになるが、そこで初めて正確な用法や品詞が定着する。受験直前に詰め込んだ知識では、商学部の文法問題には太刀打ちできない。
2. OS早慶英語、OS慶應英語の Practical Exercise は速読演習なので、担当講師の指示した時間内に8割以上の正解を出すことを目標とする。また Advanced クラス在籍者は、1学期～夏休みは時間を気にすることなく、しっかり1文1文を読み込む練習をしよう。2学期に始まる「長文マラソン」から、設定されている制限時間内に解く練習を開始すればよい。

参考図書

『対立からわかる！ 最新世界情勢 2008 - 2009』六辻彰二著（成美堂出版）

「資源価格高騰」「排出量取引の意義」「NGOの実態」「終わらない民族紛争」などのテーマごとに、代表的な三つの見解を分かりやすく紹介している。

Topicsでも言及したとおり、慶應商学部の長文は、例年「今まさに世界で起きている事柄」を題材にした問題が出題される。少し背伸びをして、国際関係や現代史について広く浅く知っておくことは、必ずメリットがある。

大問別分析

【I】

予想配点	24 (3点×8) / 200点	時間配分の目安	18 / 90分
出題内容	長文 [Word数] 644語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』PART3 『完熟』PART2 [長文テーマ] 現代人の不合理な恐怖感 [長文内容] Dan Gardnerの「人間の脳は不安や恐怖に対して本能的に反応するようにプログラムされているが、我々は理性的努力でこうした不合理な反応を克服すべきである」という主張と、それに対する筆者の「我々の不安感が全て根拠のない不合理なものとは言えない」という反論。		
出題形式	同意語句、空欄補充(選択)、内容一致文完成		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (1)B (2)B (3)C (4)A (5)A (6)B (7)B (8)B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	なんとといっても『でか単』の早期完成。これに尽きる。例えば第4パラグラフのanecdotalはanecdote(逸話、PART3)の形容詞形。第3パラグラフcruciallyはcrucial(決定的に重要な、PART2)の副詞形。多くの受験生がつまづきそうな難語も、『でか単』PART3までにほぼ網羅されており、3年生の1学期中にPART3までインプットしておけば2学期以降その定着が図れる。また商学部は問題量が多いためかなりのスピードが必要だが、結局語彙が乏しければ速読のスピードもあがらず、選択肢の検討にも時間がかかる。『でか単』をPART3まで、1学期中にマスターすれば、合格はぐっと近づくといえよう。		

●解答のポイント&学習対策等

合否を分ける問題のうち、(1)のcut out forは意味を類推することを期待していると思われる。下線部から少し離れた第3パラグラフ第2文のour primitive minds are simply not equipped ~ modern livingにその内容が説明されている。また同じく合否を分ける(2)も、空所部分の後、we would be ~ a final paragraph.にその内容が説明されている。どちらも設問を意識しながら後ろを読み進めて正解を確定するという作業が必要である。さらに合否を分ける(6)は、Gardnerの結論、(8)は筆者の結論を問う問題であり、最終第6パラグラフ前半がGardnerの見解、後半が筆者の反論であるという俯瞰的視点が必要となる。

【II】

予想配点	24 (4点×6) / 200点	時間配分の目安	18 / 90分
出題内容	長文 [Word数] 571語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』PART3 『完熟』PART2 [長文テーマ] 起業の価値 [長文内容] 伝統的な大企業—中小企業という分類に収まらない、数多くの新興企業こそが経済を動かしている。		
出題形式	内容一致文完成		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (9)A (10)B (11)B (12)B (13)B (14)B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	Iに同じ。		

●解答のポイント&学習対策等

entrepreneur(起業家)という単語を知っているだろうか。高校生の普通の生活には無縁かもしれないが、現代の経済を語るうえでは無視できないキーワードである(『でか単』には当然載っている)。本文では他にentrepreneurial(企業的な)という形容詞も使われており、この二つの語の意味を知っているのといないのでは、本文理解にかかる労力は雲泥の差である。

Benesse® お茶の水ゼミナール

日本では伝統的に学生の側に大企業や官公庁への就職志向が強く、あまり起業家は尊重されなかった(法整備の遅れなども原因とされる)。一方米国では「大企業・官公庁への就職」「親の事業引継ぎ」に続く第三の選択肢として、「自ら起業する」ことを価値あることとみなす伝統がある。「米国経済の底流を形成しているのは、実は無数の起業家たちである」というのが本文の主張。Topics 1でも触れた通り、今の自分に直接の利害はなくとも、自分と同時代に起きている現象には広く好奇心をもち、アンテナを張ってもらいたい。

(11)はやや難しい。第5パラグラフにある Ping Fu という中国系米国人の起業家の経歴を問う問題で、3, 4の選択肢はすぐ切れるが、1と2で迷う。本文ではFu氏は中国をdeport(強制退去)されたとあり、deportの意味を正確に知らないと自信をもって2を切ることはできない。また、(14)も1, 3, 4は明らかに不一致だが、2の initiative という語にひっかかる受験生がいるかもしれない。もともと動詞の initiate は「(事業・計画などを)積極的に始める」という意味である。組織に頼らず、自分で道を切り開くようなイメージだ。そこから名詞の initiative に「企業心・主導権」などの意味が出てくる。enterprises with initiative からベンチャー企業がイメージできれば、2が正解と分かるだろう。

【Ⅲ】

予想配点 21 (3点×7) / 200点	時間配分の目安 15 / 90分
出題内容 長文 〔Word数〕583語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』PART3 『完熟』PART2 〔長文テーマ〕発展途上国に対する情報機器の価値 〔長文内容〕災害からの復興支援活動、銀行との取引、漁業、農業などの分野で、発展途上国では情報機器の普及が大きな恩恵をもたらしている。	
出題形式 同意語句、内容一致文完成	
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (15)A (16)A (17)A (18)A (19)C (20)A (21)B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 Iに同じ。	

●解答のポイント&学習対策等

I～Ⅲの長文問題の中では、このⅢが最もやさしい問題だ。ここで多くの正解を稼いでおかないと合格は難しいだろう。

難しいのは(19)。un / in / im / irなどは、後に続く形容詞や名詞の意味を逆にする接頭語であり、その多くが否定的なニュアンスの語になる。選択肢を見ると、1 unfair (不公平な)、2 unstable (不安定な)、4 inconsistent (一貫性のない)の3つは否定的な意味になっている。しかし、3の impartial は partial (部分的な、不公平な)を im で打ち消しているので「公平な」という肯定的な意味である。この意味さえ分かれば、本文第3パラグラフに「インドで鉄道のチケット購入にオンライン・システムが導入されたことで、the ordinary citizen does not have to offer bribes for rail tickets. (一般の人々は鉄道の切符のために賄賂を提供する必要はなくなった)」とあるので、これを「公平な」と評価する3が正解と分かる。

(21)はやや難しい。3は新しい科学技術のメリットを語っているので一見よさそうだが、よく読むと new technologies となっており、「情報」という限定がない。また、本文中では、「漁師や農業従事者が情報機器で収穫などの情報を事前にやりとりすることで生産物の無駄が省け、価格も安定する」と書かれていて、「市場に生産物を輸送する必要がなくなった」とは書いていないので、この点も不一致。よって4が正解となる。

【Ⅳ】

予想配点 21 (3点×7) / 200点	時間配分の目安 7 / 90分
出題内容 長文空欄補充	出題形式 空欄補充 (選択)
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (22) A (23) A (24) A (25) B (26) A (27) B (28) A	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 語彙がものを言う問題。『でか単』PART 2 を1学期中にインプットすること。	

●解答のポイント&学習対策等

(22) (25) (28)は品詞の理解が大きくものを言う問題である。品詞に対してアレルギーや苦手意識がある受験生は、普段から辞書をひく際に、まずその単語の品詞を文中の位置から推測し、そのあとで辞書をひくクセをつけよう。品詞に対する感覚が格段に鋭くなるだろう。

(22)は空所以外が完全文になっており、副詞の3を選ぶ。(25)は文構造から、空所直前のthoseを修飾する形容詞が入るので4, 2は入らない。(28)は前置詞の後なので形容詞の2は入らない。このように「品詞」に対して鋭敏な感覚をもっていると、選択肢を切る時間が大幅に短縮される。

【Ⅴ】

予想配点 40 (4点×10) / 200点	時間配分の目安 10 / 90分
出題内容 文法&語彙	出題形式 空欄補充 (選択)
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (29) A (30) B (31) C (32) A (33) B (34) A (35) A (36) A (37) A (38) B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 『でか単』PART 2 を1学期中、さらに『完熟』PART 2 までを1学期中にインプットすること。	

●解答のポイント&学習対策等

Ⅳと同じく、語彙の知識に加え、品詞と文構造の把握力が時間短縮の大きな武器となる。(31)は空欄直後に前置詞のagainstがあるので、他動詞の1, 3はすぐ切れる。(37)は直後にsomethingという名詞がくるので自動詞の4は入らない。

【Ⅵ】

予想配点 12 (3点×4) / 200点	時間配分の目安 7 / 90分
出題内容 短文	出題形式 文法その他
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (39) C (40) C (41) B (42) B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 テキストの長文問題で内容一致問題を間違えた場合、間違えた理由を納得するまで考えること。「なんとなく」ですませていると、何度も同じ間違いを繰り返すことになる。	

●解答のポイント&学習対策等

かなりの難問ぞろいである。選択肢も微妙なものが多いので、消去法が有効である(まず明らかに違う選択肢を消す。残った選択肢を比較し、もう一度本文と対照しながら正解を探す)。

(40)は、要旨と明らかに矛盾する2をまず切る。さらに本文をよく読むと、現実には厚生行政が機能していないという話ではなく、民間企業がそうした印象を市民の間に作り出すのに成功している (has successfully painted A as B 「AをBという風に説明することに成功した」という話なので4が正解と分かる。

Benesse® お茶の水ゼミナール

(41)は比較的簡単で、本文の *have seen a dramatic increase in lawsuits* (訴訟の劇的増加を経験した) に注目すると、2の *Informal dispute resolution has grown* (非公式の紛争解決が増加した) が不一致とすぐ分かる。この問題が正解できないとしたら、「不一致を選べ」という指示の見落としか、語彙不足が原因と思われる。

(42)は本文が難しく、その分選択肢は分かりやすい。本文の内容を簡潔に言えば「アメリカ国民の生命・財産を守るためのコストが急上昇(*soaring*)している」ということである。選択肢の1は「社会的安定が国家経済にとって有害」という内容で、すぐに切れる(常識からも正解ではあり得ない)。2は「刑法の施行が社会の安定を増進させる」で、法律問題は触れられていないのでこれも切れる。3は「調和のある社会を作れないことは、高いコストがかかる」で、本文の「数年以内にアメリカ人は教育よりセキュリティ・ビジネスに多く人材を投入することになるだろう」「刑務所に囚人を一人おく費用はハーバード大の年間学費より高い」などの内容と矛盾はしていないので、一応保留。4の「子供によい教育を与えるのは費用がかかる」は本文のテーマと全くずれているので、3が繰り上げで正解となる。

なお、このVIは、設問の表現が小問ごとに異なっている。(39)は「具体的に説明する(*illustrate*)ものはどれか」、(40)と(42)は「含意する(*imply*)するものはどれか」(41)は「裏づけとならない(*NOT support*)ものはどれか」である。確かに選択肢はそれを意識して作られている節はあるが、実際には普通の「内容一致・不一致」のスタイルで正解できるので、気にする必要はない(もし今後、*imply* と *support* と *illustrate* の違いを意識しないと正解できないような問題が出題されても、それは「捨て問」として堂々と不正解してよい)。

【Ⅶ】

予想配点 30 (5点×6) / 200点	時間配分の目安 5 / 90分
出題内容 文法&語彙	出題形式 空欄補充(記述)
小問別難易度 ※問題難易度: C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (a)C (b)C (c)C (d)B (e)B (f)B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 この問題は複数の品詞の用法がある語が問われている。テキストの予習・復習のとき、「意味」だけでなく「品詞」を意識すること。	

●解答のポイント&学習対策等

選択式ではないので、知っている単語でも思いつかないことがある。また、正解をみると、かなり頻度の低いものも出題されているので、あまり時間をかけすぎずに割り切るのが得策。

【Ⅷ】

予想配点 28 (4点×7) / 200点	時間配分の目安 5 / 90分
出題内容 長文空欄補充	出題形式 空欄補充(記述)
小問別難易度 ※問題難易度: C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (a)A (b)B (c)A (d)B (e)B (f)B (g)C	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 1学期中に『完熟』のPART2まで完成させること。	

●解答のポイント&学習対策等

(g) 以外は、本文の内容が大まかにつかめていれば、どの動詞を入れるかは見当がつく。しかしそれをさらに語形変化させねばならず、文構造把握、品詞の理解がないと正解できないようになっている。たとえば (b) は、*without*の目的語が直後の*the recipient's phone*ではなく、(b)に入る語であることを考え、前置詞の目的語にするため動名詞にして答える。また (e) は、前の*survey*という語から*conduct*はすぐに思

Benesse® お茶の水ゼミナール

いつくだろうが(conduct a surveyで「調査を行う」)、文構造から、空欄部分がaccording to という前置詞の目的語を修飾する形、つまり過去分詞のconductedにしなければいけない。繰り返しになるが、単語、熟語、語法の暗記だけでは、慶應商学部の文法問題は対応できない。品詞と文構造の把握をしっかりやろう。